



小野小だより

「強く 正しく 美しく」

令和3年1月8日

「あなたの心は、太陽のように……。」

小野小学校長 檜本由広

1月8日(金)3学期始業式、全校生に校内放送で話しました。

「新年、明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。こうやって、あなたたちが小野小学校に集まったことが、校長先生はうれしく思います。友達と先生としっかり勉強して、美しく値打ちのあるものを創り上げる1年にしなさい。」
「さて、今年は丑年だね。ということは、しっかりと笑わなくっちゃあね。どうしてかって？牛はいつも笑ってるでしょ。『ウツシッシー』ってね。お笑いは、この程度にして、校長先生の今年最初の挑戦の話をして。」

「1月1日、日の出の時刻は7時過ぎ。準備を整えて車に乗りました。向かうのは、もちろん我らの小野小学校。挑戦その1は、初日の出をカメラに収めることです。東の方角に向かって撮影開始。春はあけぼの、見ているだけで美しい空でした。指先の冷たさを我慢して、スマホを固定し、20数分。太陽が顔を出し、初日の出を撮影することができましたよ。今年の初日の出も見ていて美しかった。」

「その後も、挑戦を続けました。顔を出した太陽と話したらどんな会話になるだろうと考えながら、初日の出を見守りました。その時の太陽さんとのやりとりです。」

「太陽さん、今年の目標は何ですか？」

「目標かい？ それは、やっぱり、いつもと変わらず、皆さんを照らし続けることだよ。」

「そう、答えが返ってくることは予想していました。そんな太陽さんだからこそ、1年で最初の太陽さんとの出会いを、私たちは「初日の出」といって、その瞬間に多くの願いを託しているんです。だから、今日1年の最初の日、小野小学校で太陽さんに出会えたことで、今年もいい1年になりそうな気がします。太陽さん、ありがとうございます。」

「そうだったのかい。そんな風に言うのなら、……。校長先生、あなたの願いを一つだけ叶えてあげようじゃないか。何なりと言ってごらんください。」

「いいんですか。私は、小野小学校の子供たちには、強く 正しく 美しく、そして、その心は、太陽さんのように大きく大きく育ててほしいと願っています。この願い、叶えてい

ただけますか？」

「ううむ。難しい願いじゃな。叶えてやってもいいが、そのためには、小野小学校の子供たちが、その気になって一人一人懸命にがんばる必要があるぞ。」

「はい、もちろんです。子供たちが頑張るかどうかが、心配する必要はありません。小野小学校の子供たちは、私の自慢の子供たちですから。」

1年生は、いつも仲良く勉強しています。2年生は、けんかをしてすぐに仲直りできるやさしさを広げています。

3年生は、去年の4月から太陽さんのように輝こうとしています。4年生は、一人一人がVサインでピースできるようにがんばっています。5年生は、たくさんのやる気スイッチ5on!です。6年生は、小野小学校の顔として、確かな歩みを続けOneTeamをめざし、何があってもたくましく学び続ける子供たちです。それに、きっと、新年の目標も決めて、やる気いっぱいですから。いかがですか？」

「なるほど。それなら大丈夫だな。子供たちの心が、大きく、大きく育つことを叶えてやろう。ただし、くれぐれも新型コロナウイルス感染症の予防も忘れずにな。」

「ありがとうございます、太陽さん。子供たちは、感染症の予防はもちろん、もしも身近で感染した人がいても、その人を守り抜き、応援する心も育てています。」

子供たちと一緒に、この一年もがんばります。

太陽さん、今年もいいこといっぱいありそうです。どうぞ、見ていてください。」

「と、まあ、こんなことを太陽さんと心の中でやりとりしましたよ。」

太陽はいつも私たちを照らし続けています。太陽が見えない曇りの日でも雨の日でも、どんなことが起ころうとも、太陽は変わることなく光り輝いているんだよ。

この一年も、小野小学校のあなたたちは、いつものとおり、「強く 正しく 美しく」。笑いを忘れず、何が起ころうとも、太陽のように、心を燃やし、心をさらに大きく育てるんですよ。この一年も応援しています。」

□□ 保護者の皆様、よろしく願いいたします。 □□□

感染症対策について、緊急事態宣言が発出され、本県の状況も厳しいものとなっています。学校では、これまでに実施してきた対策を徹底し対応してまいります。家庭におかれましても、健康観察や検温を丁寧に実施していただき、子供たちを学校へ送り出していただくようご協力をお願いいたします。また、気になることは、学校へご連絡をお願いいたします。本年もよろしく願いいたします。

